

平成 29（2017）年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻
修士課程学生募集要項（夏季募集）

社会情報学コース
文化・人間情報学コース
先端表現情報学コース
総合分析情報学コース

※受験予定コースの「入学試験案内」を必ず入手すること。

(URL: <http://www.iii.u-tokyo.ac.jp/>)

【本要項の問合せ先】

東京大学大学院学際情報学府事務部学務係
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
電話 03-5841-8769, 8768
E-mail: gakumu@iii.u-tokyo.ac.jp

平成 29(2017)年度東京大学大学院学際情報学府 学際情報学専攻修士課程学生募集要項（夏季募集）

教育研究上の目的

本学府は、全学の情報関連教育研究組織の有機的な連携のもとに、学際的かつ実践的な学びの環境を提供し、高度情報化社会の諸分野で求められる情報の処理技術、それらの社会的な意味や機能に関する高度な知識を幅広く有する人材を育成することを目的とします。ここでは、実践的な情報リテラシーを身につけた人材養成と社会人再教育を行うと同時に、文理融合的に情報学のフロンティアを切り開く研究者・表現者の養成を行います。

求める学生像

- ・ 情報現象についての文理を越境する幅広い視野と、社会情報学からコンピュータ科学までの高度な専門的能力とを、同時に習得したいという高い意欲を有する人。
- ・ 情報学のフロンランナーとして、未知の問題の解決に向けて独創的かつ文理融合的なスタンスで取り組むことができる人。
- ・ 既成の概念にとらわれない新鮮な着想力を持つ人。

1. 出願資格（以下(1)～(10)のいずれかの要件を満たす者）

- (1) 大学を卒業した者及び平成 29(2017)年 3 月 31 日(注 1)までに卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 29(2017)年 3 月 31 日(注 1)までに修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 29(2017)年 3 月 31 日(注 1)までに修了見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 29(2017)年 3 月 31 日(注 1)までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 29(2017)年 3 月 31 日(注 1)までに修了見込みの者
- (6) 昭和 28 年文部省告示第 5 号をもって文部科学大臣の指定した者(注 2)
- (7) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び平成 29(2017)年 3 月 31 日(注 1)までに授与される見込みの者(注 3)

○ 以下(8)～(10)の出願資格については、出願前に審査（(8)、(9)）又は個別の入学資格審査（(10)）を行う。

- (8) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了し、所要の単位を優秀な成績で修得したものと本学府において認めた者
- (9) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本学府において認めた者

- (10) 個別の入学資格審査をもって、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学府において認めた者で、平成 29(2017)年 3 月 31 日(注 1)において 22 歳に達しているもの(注 4)

-
- (注 1) 総合分析情報学コースでは、平成 29(2017)年 4 月入学のほかに、平成 28(2016)年 9 月入学を認める。募集人員は若干名である。なお、平成 28(2016)年 9 月入学を希望する者については、出願資格(1)から(10)までの「平成 29(2017)年 3 月 31 日」を「平成 28(2016)年 9 月 22 日」と読み替えるものとする。
- なお、平成 28(2016)年 9 月入学希望者で、9 月 23 日から 9 月 30 日までの間に
出願資格(1)から(5)のいずれかを満たす者にも出願を認める場合があるので、該当者は事前に問い合わせること。
- (注 2) 上記(6)に該当する者とは、旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者及び卒業見込みの者を示す。
- (注 3) 上記(7)に該当する者とは、学位授与機構又は大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び授与される見込みの者を示す。
- (注 4) 上記(10)に該当する者とは、上記(1)から(9)に該当しない者のうち、4 年制の大学に相当する教育施設の卒業者(修了者)等で、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学府において認めた者である。ただし、出願時に大学 3 年次に在学し、平成 29(2017)年 3 月 31 日までに卒業する見込みでない者については、本学府では出願資格を認めていないため、上記(10)にも該当しない。
-

- 上記(8)、(9)又は(10)の資格により出願しようとする者については、以下の書類等を平成 28(2016)年 6 月 10 日(金)までに必ず書留郵便により本学府事務部学務係(後記 2. (3))に郵送すること(平成 28(2016)年 6 月 11 日(土)以降に到着したものについては、6 月 10 日(金)までの消印があるものに限る有効とする)。

その際、封筒の表に「東京大学大学院学際情報学府修士課程出願資格((8),(9)又は(10))審査提出書類」である旨を明記すること。

※ 審査又は個別の入学資格審査に伴う提出書類については、原則として返却しない。

書類等	提出者	摘 要
履歴書	出 願 資 格 (8), (9), (10)全員	任意様式(以下の事項を記載) ・生年月日、現住所、電話番号等連絡先 ・小学校からの全学歴(それぞれの学校名、入学・卒業年月、在学年数及び正規の修業年数を明記) ・その他、研究歴、国際的活動経験、実務経験、取得資格、各種国家認定試験、公表論文・著書、学会等における発表の実績、受賞歴等、該当するもの。
成績証明書	出 願 資 格 (8), (9), (10)全員	学部(教養課程を含む 4 年間)の成績証明書 ※出願資格(10)の場合は、最後に在籍した(又は在籍中の)教育施設の成績証明書
審査結果通知用封筒	出 願 資 格 (8), (9), (10)全員	長 3 サイズの封筒に出願者本人の宛名を記入し、362 円分の切手を貼ったもの。
教育施設に関する資料	出願資格(10)のみ	出願者の在籍した(又は在籍中の)教育施設の概要、授業内容・教材等、授業時間数、採点・評価基準等の掲載されている冊子等

- 審査で、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本学府において認めた者(出願資格(8)又は(9)の場合)又は個別の入学資格審査で大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学府において認めた者(出願資格(10)の場合)について、出願を受け付け、受験を許可する。

なお、審査の結果は平成 28(2016)年 7 月 11 日(月)までに郵送により通知する。

2. 出願方法・出願期間

- (1) 出願は、郵送に限る。郵送にあたっては、後記「7. 提出書類等」を一括して各自で用意した角形 2 号の封筒 (240mm×332mm) に入れ、書留速達郵便とすること。
- (2) 受付期間 平成 28(2016)年 7 月 12 日(火)～7 月 14 日(木)
(平成 28(2016)年 7 月 15 日(金)以降に到着したものについては、平成 28(2016)年 7 月 14 日(木)までの消印のあるものに限り有効とする。)
- (3) あて先 東京大学大学院学際情報学府事務部学務係
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
電話 03-5841-8769, -8768

3. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、一次試験及び二次試験による。ただし、二次試験は、一次試験合格者についてのみ行う。
- (2) 一次試験の判定は、筆記試験及び書類選考により行われる。
- (3) 二次試験は、これに加えて口述試験を行い、一次試験の内容と合わせて総合的に判定する。

4. 試験期日及び場所

- (1) 一次試験 (筆記試験)
 - ア) 平成 28(2016)年 8 月 2 日(火) 外国語(英語) TOEFL-ITP により実施する。
 - イ) 平成 28(2016)年 8 月 22 日(月)午後 専門科目
 - ア)、イ) とも試験時間割、試験場その他詳細は、受験票とともに郵送する「受験者心得」による。

※ 筆記試験の詳細については、受験予定の各コースの「入学試験案内」を参照すること。
- (2) 二次試験 (口述試験)：一次試験合格者を対象に行う。
平成 28(2016)年 8 月 29 日(月)及び 30 日(火)のうち、いずれか一日を指定する。

5. 試験科目及び募集人員

専 攻	コース	募集人員 (注 1)	一次試験			二次試験
			筆記試験		書類選考	口述試験
			外国語	専門科目		
学際情報学	社会情報学	19 名	英語 TOEFL 等の成績を利用する。 (注 3)	当該コースの専門に関わる領域。	提出書類等(外国語(英語)筆記試験に係る TOEFL 等の成績を除く全ての書類)に基づいて行う。	基礎及び専門学力、研究能力及び研究計画について総合的に行う。
	文化・人間情報学	29 名 (注 2)				
	先端表現情報学	19 名				
	総合分析情報学	19 名 (注 2)				

- (注 1) 試験の結果によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合もある。
- (注 2) 文化・人間情報学コース及び総合分析情報学コースでは、冬季にも募集を行う。上記の募集人員は夏・冬の合計人数である。なお、冬季の募集要項については、あらためて発表する。
- (注 3) 8 月 2 日(火)に本郷キャンパスで実施する本学指定の TOEFL-ITP の受験をもって外国語(英語)筆記試験とする。または、各コースが指定する外国語試験の成績証明書を提出することにより、外国語(英語)筆記試験に代えることができる。詳細は受験予定の各コースの「入学試験案内」を参照すること。

※ 試験科目 (TOEFL 等を含む) の詳細については、受験予定の各コースの「入学試験案内」を参照すること。

6. 特別選考枠

4 コースそれぞれにおいて特別選考枠を用意する。

特別選考枠の詳細については、受験予定の各コースの「入学試験案内」を参照すること。

7. 提出書類等

書類等	提出者	摘 要
*入学願書(正・副)	全員	所要事項を記入したもの
*受験票	全員	所要事項を記入したもの
成績証明書	全員	・学部(教養課程を含む4年間)の成績証明書 ・大学に編入学している場合は、編入学前の大学等の成績証明書も提出すること ・原本を提出
出身大学の卒業証明書	既卒業者 (出願時に大学を卒業している者)	・成績証明書に卒業年月日が記載されている場合は不要 ・外国の大学を卒業した場合は、取得学位が記載されているもの ・出願資格(7)の者は、学位授与機構又は大学評価・学位授与機構が作成した学位授与証明書を提出すること ・原本を提出
外国の大学の卒業見込証明書	外国の大学の卒業見込者	原本を提出
検定料 【銀行振込の場合】 *「東京大学」入学検定試験検定料振込金受付証明書(C票) 【コンビニエンスストアでの払込の場合】 収納証明書 【クレジットカードでの払込の場合】 「受付完了画面」のプリントアウト	全員(日本政府(文部科学省)奨学金留学生を除く)	検定料：30,000 円 銀行振込もしくはコンビニエンスストア又はクレジットカードでの払込に限る。また、払込の際に発生する払込手数料は出願者本人の負担となるので留意すること。 【銀行振込の場合】 所定の振込依頼書に必要事項を記入のうえ、最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行・郵便局不可)から振り込むこと(ATM、インターネット等は利用しないこと)。振込方法等の詳細は、本学府所定の振込依頼書及び注意書を参照すること。 【コンビニエンスストア又はクレジットカードでの払込の場合】 コンビニエンスストアは、セブン-イレブン、サークルK、サンクス、ローソン、ファミリーマート、ミニストップに限る。 実際の払込に関する操作手順や注意事項については、別紙 「東京大学大学院学際情報学府コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料払込方法」 を参照のうえ払い込むこと。 また、払込の際に発生する払込手数料は出願者本人の負担となるので留意すること。

* 研究計画書	全員	本学府入学後の研究計画を、A4 判任意用紙 2 枚程度にまとめたもの(本学府所定の表紙を付けること)
* 自己推薦書	全員	出願者の基礎学力及び専門領域の能力を自らが評価し、記入したもの。必要に応じ、情報学及びその関連する分野における実績があれば、その概要を記したものや目録、現物又はそのコピー(著書、論文、報告書、作品など。ただし、主要なものに限る)を封筒に同封して提出すること。提出物は返却しない。
* 指導教員希望調査書	全員	所要事項を記入したもの
* 推薦書	文化・人間情報学コース、先端表現情報学コース、総合分析情報学コースのいずれかを志望する者	出願者の専門領域に関わる研究面あるいは実務面での経験及び能力に関する評価を記入したもの。評価者は官公庁、企業及び団体等の所属機関の上司、卒業論文他学位論文の指導教員、その他本人の経験及び能力を熟知している者等とする
・TOEFL 成績証明書	社会情報学コース、文化・人間情報学コースのいずれかを志望する者	2014 年 9 月 1 日以降、前記「2. 出願方法・出願期間(2)受付期間」終了までに受験したもの 詳細は受験予定のコースの「入学試験案内」参照
・TOEFL 成績証明書 ・TOEIC 成績証明書のいずれか	先端表現情報学コースを志望する者	2014 年 9 月 1 日以降、前記「2. 出願方法・出願期間(2)受付期間」終了までに受験したもの 詳細は先端表現情報学コースの「入学試験案内」参照
・TOEFL 成績証明書 ・TOEIC 成績証明書 ・実用英語技能検定(通称:英検)の 1 級若しくは準 1 級の合格証明書のいずれか	総合分析情報学コースを志望する者	2014 年 9 月 1 日以降、前記「2. 出願方法・出願期間(2)受付期間」終了までに受験したもの 詳細は総合分析情報学コースの「入学試験案内」参照
受験票送付用封筒	全員	各自で用意した長形 3 号の封筒(120mm×235mm)の表(おもて)に出願者本人のあて先(郵便番号、住所及び氏名)を記入し 372 円分の切手を貼ったもの
* 日本語学力証明書	外国人 (日本の大学を卒業した者及び卒業見込みの者を除く)	日本語担当教員又はこれに準ずる者が作成したもの
* 出願書類チェックリスト	全員	所要事項を記入したもの

※ *印は、所定様式を使用すること。ただし、研究計画書については、表紙のみ所定様式を使用すること。
 ※ 外国語試験免除等の提出書類についての詳細は、受験予定の各コースの「入学試験案内」を参照すること。

8. 合格者の発表及び入学手続

- (1) 一次試験(筆記試験)合格者の受験番号及び二次試験(口述試験)の集合時間・場所は、平成 28(2016)年 8 月 26 日(金)14 時頃、情報学環本館玄関前に掲示する。
- (2) 最終合格者の受験番号は、平成 28(2016)年 9 月 2 日(金)14 時頃、情報学環本館玄関前に掲示する。
また、最終合格者に対しては、掲示に加えて郵送により通知する。
- (3) 電話による可否についての照会には、一切応じない。
- (4) 入学許可は、平成 29(2017)年 4 月入学許可者については、平成 29(2017)年 2 月下旬頃本人宛に通知する。また、平成 28(2016)年 9 月入学許可者については、平成 28(2016)年 9 月中旬に本人宛に通知する。

- (5) 平成 29 (2017) 年 4 月入学許可の通知を受けた者は、その際送付される入学手続に関する指示に従い、平成 29 (2017) 年 3 月の所定期間内に必要な手続(入学料の振込及び入学手続書類の提出)を行うこと。また、平成 28 (2016) 年 9 月入学許可の通知を受けた者は、同様に平成 28 (2016) 年 9 月の所定期間内に必要な手続(入学料の振込及び入学手続書類の提出)を行うこと。所定の期間内に入学手続を行わない場合には、入学しないものとして取り扱うので注意すること。
- (6) 入学時に必要な経費(平成 29 (2017) 年度予定額)
(日本政府(文部科学省)奨学金留学生に対しては徴収しない。)
- | | |
|---------|------------------------------|
| ①入学料 | 282,000 円(予定額) |
| ②授業料前期分 | 267,900 円(年額 535,800 円)(予定額) |
- (注1)9月入学者は入学年度に312,550円(9月～3月：年額の12分の7)の納付となり、標準修業年限による修了見込年度は223,250円(4月～8月：年額の12分の5)の納付となる。
- (注2)上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

9. 注意事項

- (1) 同一時期の募集において、本学府内の複数のコースに同時に出願することはできない。また、同一時期の募集において、修士課程と博士課程に同時に出願することはできない。
- (2) 他の研究科・教育部(情報学環教育部研究生とは異なる)等と重複して入学することはできない。
- (3) 提出書類は入学者選抜のための重要な資料となるので、正確に作成すること。提出期限までに所定の書類が完備しない願書は受理しない。また、出願手続後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めず、検定料の払い戻しはしない。
- (4) 「受験票」及び「受験者心得」は、出願者本人に郵送する。平成 28 (2016) 年 7 月 27 日(水)までに到着しない場合は、必ず本学府事務部学務係(前記 2. (3))に連絡し、受験に必要な指示を受けること。
- (5) 障害等のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は出願時に本学府事務部学務係(前記 2. (3))に申し出ること。
- (6) 外国人は、入学手続までに「出入国管理及び難民認定法(昭和 26 年政令第 319 号)」による、大学院入学に支障のない在留資格を有すること。
- (7) 官公庁、企業及び団体等に在職のまま大学院に入学しようとする者は、入学手続の際に、在学期間中学業に専念させる旨の勤務先の所属長の承諾書(様式任意)を提出すること。
- (8) 事情によっては、出願手続及び試験期日等について、変更することもある。
- (9) 出願手続後は、どのような事情があっても、書類の返却はしない。
- (10) 入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしない。
- (11) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係(学籍、修学等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請・図書館の利用等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。
- (12) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。
- (13) 提出書類における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。

平成 28 (2016) 年 5 月

平成 29（2017）年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻
入学試験案内（修士課程）
社 会 情 報 学 コ ー ス

注意：本案内以外に、本学府学生募集要項についても必ず目を通すこと。

出願上の諸注意

1. 入学願書作成に関する注意

- (1) 入学願書は正・副 2 枚ある。必ず 2 枚とも提出すること。
- (2) 入学願書（正・副）は、コースにより様式が異なるので、十分注意して選択し、1 コースのみ提出すること。万が一、提出書類でコースの選択が統一されていない場合、入学願書（正）で選択したコースに出願したものとして扱う。
- (3) 「外国語（英語）受験方法」欄は、該当する項目にレ印を付けること（複数選択可。「外国語（英語）試験について」参照）。
なお、TOEFL-ITP については入学願書で受験を申し出た者のみ 8 月 2 日（火）に行われる本学府指定の TOEFL-ITP を受験することができる。受験を希望する者は「8 月 2 日の TOEFL-ITP の受験を希望する」にレ印を付けること。
- (4) 「一般選抜／特別選考枠」欄は、該当する項目にレ印を付けること。
- (5) 「出身大学」欄に正確な学部・学科名を必ず記入すること。また、東京大学を平成 29(2017) 年 3 月に卒業見込の者は、現在の学生証番号を記入すること。
- (6) 大学院を修了している場合も、「出身大学」欄には学部に関する履歴を必ず記入すること。また、複数の大学を卒業（見込）又は大学院を修了（見込）の場合は、裏面の履歴に記入すること。
- (7) 「現在の身分」欄は、「出身大学」欄の大学に在学中以外の所属がある場合のみ、所属機関、部署等の名称及び身分を具体的に記入すること。研究生等の場合も同様。
- (8) 入学願書に貼付する写真 3 枚（受験票貼付分を含む）は、同一のものを使用すること。
- (9) ファクス番号(fax)及び電子メールアドレス(e-mail)の欄は、緊急連絡手段として記入可能なものがあれば、記入すること。

2. 成績証明書に関する注意

- (1) 成績証明書は、必ず教養課程を含んだ 4 年間分を提出すること。
- (2) 大学院を修了している場合も学部の成績証明書を必ず提出すること。
- (3) 複数の大学を卒業（見込）又は大学院を修了（見込）の場合は、複数の成績証明書を提出してもよい。
- (4) 大学に編入学している場合は、編入学前の大学等の成績証明書も提出すること。
- (5) 原本を提出すること。

3. 指導教員希望調査書に関する注意

- (1) 「学生受入教員名簿（修士課程）」（後掲）を参照の上作成すること。
- (2) 「指導教員希望調査書」に記入する教員は、必ず志望するコースに記載された教員から選ぶこと。
- (3) なお、指導教員は本調査書の内容を尊重の上、入学後に最終的に決定される。

4. 日本語学力証明書に関する注意

- (1) 外国人（日本の大学を卒業した者及び卒業見込みの者を除く）は、必ず提出すること。
- (2) 日本語学力証明書の様式は、原則として本案内添付の様式を使用すること。これと別な様式とする場合は、「話す力」「聞く力」「書く力」及び「読む力」の評価並びにその評価方法等が記載された内容の証明書とすること。

5. 各種証明書及び提出書類等に関する注意

- (1) まれに発行元の都合で証明書の原本を提出できずにコピーを提出する場合があるが、この場合、発行元又は公的機関で原本と相違がないことを証明のうえ、提出すること。
- (2) 提出する証明書、論文等は、日本語又は英語によることを原則とするが、やむを得ない事情により、他の言語の証明書を提出する場合は、和訳又は英訳した文書を添付すること。

6. 各種提出書類等に関する注意

- (1) 東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻修士課程学生募集要項（夏季募集）「7. 提出書類等」に基づき書類等を整理して各自で用意した角形 2 号の封筒（240mm×322mm）に封入し、書留速達郵便で送付すること。
- (2) 「受験番号」欄以外は、それぞれの書類の注意書き等に従い、該当する箇所すべてを記入すること。
- (3) 複数の書類に共通して記入する事項については、記入後、相違がないか必ず確認すること。
- (4) 「研究計画書」は、必ず表紙(所定様式)の後ろに添付して、左上をホッチキス又は糊で綴じること（クリップ留めは不可）。
- (5) 「自己推薦書」に添付して、情報学及びその関連する分野における実績として提出する成果物は、ファイル等により散逸しない形状とし、表（おもて）に氏名を明記の上、すべての提出書類等と共に提出すること。また、提出物が書類の場合、ページ数の多少に関わらず、自己推薦書・研究計画書等とは別冊として同封すること。
- (6) 受験票送付用封筒として、各自で用意した長形 3 号の封筒（120mm×235mm）の表（おもて）に出願者本人のあて先（郵便番号、住所及び氏名）を記入し 372 円分の切手を必ず貼り提出すること。
- (7) 提出書類(各種証明書等)に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、改姓名したことが確認できる証明書を添付すること。

社会情報学コース案内

本学府修士課程[社会情報学コース]は、メディア、コミュニケーション、社会情報に関わる社会現象・文化現象を分析するための学識を養い、専攻分野における研究及び応用の能力を培うことを目的とし、社会情報学の発展に貢献できる研究者を養成する教育を行います。

1. 募集人員

募集人員
19名（うち特別選考枠若干名）

（注1）本コースでは、「特別選考枠」を「社会人特別選抜枠」として取り扱う。

（注2）試験の結果によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合もある。

2. 試験科目等（一般）

（1）一次試験

判定は、提出書類並びに筆記試験に基づいて行う。

試 験	内 容
筆記試験 (外国語(英語))	「外国語（英語）試験について」（後掲）参照
筆記試験 (専門科目)	メディア、コミュニケーション、社会情報に関わる知識を、基礎となる人文・社会科学（法学、政治学、経済学、社会学、メディア・ジャーナリズム研究、社会心理学など）の知識と合わせ試験する。解答は日本語で記述すること。

（2）二次試験

一次試験合格者のみを対象として行う。

試 験	内 容
口述試験	基礎及び専門学力、研究能力及び研究計画について総合的に行う。本人の説明時間は7分以内とする。必要に応じてA4用紙で3ページ以内の資料をあらかじめ作成して使用することができる。

3. 特別選考枠：社会人特別選抜枠

本コースの特別選考枠である「社会人特別選抜枠」では、社会情報学に深くかかわる分野で、大学院における社会人の再教育に対する社会的要請に応えることを目的とし、社会情報学の知識・理論や研究態度を身に付けながら、より高度な職業的、社会的実践能力を備えた専門的職業人となりうる人材を募集します。

（1）条件

「学生募集要項(1.出願資格)の(1)～(10)」に加え、入学予定時において、社会人としての期間が通算3年以上あること。

(2) 出願時提出書類

社会人特別選抜枠での受験を希望する者は、学生募集要項(7. 提出書類等)に記されたもののほか、出願時に「志望理由書」を提出すること。

「志望理由書」執筆に際しては以下の点に注意すること。

- ① 社会人としての業務ないし活動内容と、学際情報学府で学ぼうとしている学術的内容との関係をあきらかにすること。
- ② 400 字詰原稿用紙 15 枚以上 20 枚以内に相当する字数。A4 判の用紙を使用すること。
ワープロ可。

(3) 試験科目

- 1) 一次試験 : 判定は、提出書類並びに筆記試験に基づいて行う。

試 験	内 容
筆記試験 (外国語(英語))	「外国語(英語)試験について」(後掲) 参照
筆記試験 (専門科目)	社会人の経験を踏まえつつ社会情報学を研究していくうえで必要とされる学問的適性について試験を行う。 また、特別選考枠においても、メディア、コミュニケーション、社会情報に関わる知識を、基礎となる人文・社会科学(法学、政治学、経済学、社会学、メディア・ジャーナリズム研究、社会心理学など)の知識と合わせ試験する。 解答は日本語で記述すること。

- 2) 二次試験 : 一次試験合格者のみを対象として行う。

試 験	内 容
口述試験	研究計画、研究能力、社会人経験、志望動機に関し総合的に考査する。本人の説明時間は7分以内とする。必要に応じてA4用紙で3ページ以内の資料をあらかじめ作成して使用することができる。

外国語（英語）試験について

一次試験（筆記試験）における外国語（英語）の試験は下記A又はBの方法による。

受験者はA、Bのいずれか又は両方を選択することができる。入学願書の所定欄に提出書類について申し出ること。

A. 8月2日(火)に東京大学本郷キャンパスで行われる TOEFL-ITP を受験する。

TOEFL-ITP (<http://www.cieej.or.jp/toefl/itp/index.html>) は、TOEFL の団体試験を利用して本学府英語試験として実施するもので、本学府の受験生が同一の時間帯に同一の方法で受験するものである。

なお、TOEFL-ITP の試験結果は、本年度の本学府修士課程入試にのみ有効であり、結果は公表しない。

TOEFL-ITP を受験する場合は、入学願書の所定欄に受験する旨を申し出ること。受験生が TOEFL 事務局に申し込む必要はない。また、受験料を支払う必要はない。

また、本学府以外で受験した TOEFL-ITP の成績は受け付けない。

B. 次の書類を提出することにより外国語（英語）試験に代える。

- ・ TOEFL-PBT または TOEFL-iBT の公式スコアシート

TOEFL (<http://www.cieej.or.jp/toefl/>)

○有効期限：本学府入学試験の2年前(2014年)の9月1日以降、別紙「学生募集要項(2. 出願方法・出願期間)」記載の出願受付期間終了までに受験したものに限定する。

○提出書類：下記①と②両方とも必要

①「Examinee Score Report (Examinee's Score Record)」のコピー

Examinee Score Report (Examinee's Score Record)は、ETS (Educational Testing Service) から本人に送付されるものである。

②「Official Score Report」

Official Score Report は、ETS から大学院学際情報学府宛に直送されるものである。(受験生は、ETS に対して Official Score Report の送付を請求する必要がある。)

○提出方法：①Examinee Score Report (Examinee's Score Record)のコピーは、願書提出時に他の書類と共に学際情報学府に提出することを原則とする。ただし、上記有効期限内に受験したもので、願書提出期間に間に合わない場合は、願書提出時には「提出が遅れる」旨のメモ(用紙・様式任意)を同封し、別途、各自で用意した封筒により、平成28(2016)年8月5日(金)必着で書留速達郵便により郵送すること。

②Official Score Report の到着期限は、平成 28(2016)年 8 月 5 日(金) 必着とする。ETS に対して東京大学大学院学際情報学府宛「Institution Code コード：0440 (U of Tokyo, Grad Sch Inter Info)」へ送付するよう必ず請求する。
注) 請求方法などは、TOEFL のウェブサイトで十分確認すること。

<http://www.cieej.or.jp/toefl/toefl/scores.html>

- 注意事項:※ Official Score Report が複数枚届いた場合は、①と同一のスコアを採用する。
※ 各スコアの到着には約 6 週間程度かかることがあるので、日程に余裕を持って受験又は請求すること。詳しくは TOEFL ウェブサイトで確認すること。
※ 不正な方法で提出したことが判った場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。

社 会 情 報 学 コ ー ス
学 生 受 入 教 員 名 簿（修士課程）

学際情報学府修士課程指導教員のうち、平成 29（2017）年度において学生受入を行う教員は以下のとおりである。

「指導教員希望調査書」に記入する教員名は、必ず以下に記載された教員から選ぶこと。

教員名		
石崎	雅人	教授
伊東	乾	准教授
大庭	幸治	准教授
北田	暁大	教授
須藤	修	教授
田中	淳	教授
田中	秀幸	教授
丹羽	美之	准教授
橋元	良明	教授
林	香里	教授
原田	至郎	准教授
三谷	武司	准教授
山口	いつ子	教授

（五十音順）

各教員の専門分野などの詳細は、大学院情報学環・学際情報学府のウェブサイト（<http://www.iii.u-tokyo.ac.jp/>）を参照すること。

1. □欄は、該当する項目にレ印を付けること。そのほかの選択記入欄は、該当する項目を○で囲むこと。
2. 裏面の「履歴」欄も詳しく記入すること。
3. 出願する際は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。
4. ※印の欄は記入しないこと。

履歴 ●—— 高等学校卒業以降の履歴を学歴（入学、卒業）、職歴、研究歴の順に記入すること。

年	月	高等学校 卒業
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	

諸外国の学校教育制度により大学を卒業した者は、下記の欄も記入すること。

●——（ ）内に在学年数を、[]内に正規の修業年数を記入すること。

年	月～	年	月（ ） []	小学校
年	月～	年	月（ ） []	中学校
年	月～	年	月（ ） []	高校
年	月～	年	月（ ） []	大学
年	月～	年	月（ ） []	

1. □欄は、該当する項目にレ印を付けること。そのほかの選択記入欄は、該当する項目を○で囲むこと。
2. 裏面の「履歴」欄も詳しく記入すること。
3. 出願する際は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。
4. ※印の欄は記入しないこと。

履歴 ●—— 高等学校卒業以降の履歴を学歴（入学、卒業）、職歴、研究歴の順に記入すること。

年	月	高等学校	卒業
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		

諸外国の学校教育制度により大学を卒業した者は、下記の欄も記入すること。

●——（ ）内に在学年数を、[]内に正規の修業年数を記入すること。

年	月～	年	月（ ）[]	小学校
年	月～	年	月（ ）[]	中学校
年	月～	年	月（ ）[]	高校
年	月～	年	月（ ）[]	大学
年	月～	年	月（ ）[]	

写真貼付欄	平成 29(2017) 年度 受験票 学際情報学専攻 修士課程	
最近 3 か月以内撮影の 正面上半身脱帽のもの (縦 5cm×横 4cm)	氏名 — 外国籍の者は外国人登録証明書の氏名	受験番号
	現住所 〒 tel	志願コース
		社会情報学コース
		一般選抜 / 特別選考枠
	☐ 一般選抜 ☐ 特別選考枠 (社会人特別選抜枠)	

東京大学大学院学際情報学府 修士課程

注：A 4 サイズで印刷すること。

空 白

平成 29 (2017) 年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻

社情

修士課程

指導教員希望調査書

受験番号 ●— この欄は記入しないこと

氏名

研究テーマ ●— 希望する研究テーマを 40 字以内で簡潔に記入すること。

注：研究計画書（表紙）と同じ内容とすること。

指導教員希望順位

希望順位	教員氏名
1	
2	
3	
4	
5	

- (1) 「社会情報学コース学生受入教員名簿（修士課程）」及び別冊の「教員紹介」を参照の上、作成すること。
- (2) 必ず「社会情報学コース学生受入教員名簿（修士課程）」に記載された教員から選ぶこと。
- (3) 希望順に最大 5 名まで、可能な限り複数名記入すること。
- (4) 指導教員は本調査書の内容を尊重の上、入学後に最終的に決定される。この書類で希望した以外の教員が指導教員になる場合もある。

※出願する際は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。

空 白

平成 29（2017）年度
 東京大学大学院学際情報学府
 学際情報学専攻

社情

修士課程

研究計画書[表紙]

受験番号 ●— この欄は記入しないこと

氏名

研究テーマ ●— 希望する研究テーマを 40 字以内で簡潔に記入すること。

注：指導教員希望調査書と同じ内容とすること。

キーワード ●— 5 単語程度

--

研究要旨 ●— 200 字程度

--

- (1) 次ページ以下に A4 判任意用紙 2 枚程度にまとめた研究計画書を添付し、左上をホッチキス又は糊で綴じること。
- (2) 研究計画書などの提出書類は入学者選抜のための重要な判断材料になる。
- (3) 出願する際は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。

空 白

平成 29 (2017) 年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻

社情

修士課程

自己推薦書

受験番号 ●— この欄は記入しないこと

氏名

自己推薦文 ●— 志願者自身の基礎学力及び専門領域の能力を自らが評価し、記入すること。

研究に役立つと思われる免許・資格等を有していれば、その取得年月と名称を以下に記入すること。
(TOEIC 等の語学検定試験については、その成績も付記すること。)

- (1) 必要に応じ、情報学及びその関連する分野における実績があれば、その概要を記したものや目録、現物またはそのコピー（著書、論文、報告書、作品など。ただし、主要なもの 1 編に限る。）を他の出願書類とともに同封して提出すること。
- (2) 裏面も必ず記入すること。
- (3) 出願する際は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。

平成 29 (2017) 年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻

社情

修士課程
自己推薦書

情報学及びその関連する分野における実績に関する提出物の有無とその分類

1. 提出物の有無 ● — 有無のどちらかを○で囲むこと。

有 ・ 無

2. 提出物の分類・内容

- (1) 提出物の分類により、提出チェック欄の番号を○印で囲むこと。
(2) 提出物の分類が「その他」の場合、同欄 () 内に具体的に記入すること。
(3) ○印を記した提出物については、提出物の内容欄に、題名や内容を簡潔に記入すること。各種記録媒体の場合は、規格、ソフト名なども記入すること。

提出チェック	提出物の分類	提出物の内容
1	論文	
2	書籍	
3	書類 (報告書、業績リスト等)	
4	C D - R O M	
5	D V D - R O M	
6	U S B メモリ	
7	その他 ()	

平成 29 (2017) 年度
 東京大学大学院学際情報学府
 学際情報学専攻

社情

修士課程

日本語学力証明書

CERTIFICATE OF PROFICIENCY IN JAPANESE

受験番号 ●— この欄は記入しないこと

- 外国人出願者のみ提出すること。(ただし、日本の大学を卒業した者又は卒業見込みの者については不要)
 - 日本語教授者、その他適当な方に記入を依頼して下さい。
- This sheet should be completed by your instructor in Japanese or any other qualified person.

志願者氏名 (Name of applicant)	
住所 (Address of applicant)	

日本語能力の評価 (EVALUATION OF APPLICANT'S ABILITY IN JAPANESE)

	優 (Excellent)	良 (Good)	可 (Fair)	不可 (Poor)
話す力 (Speaking)	☐	☐	☐	☐
聞く力 (Hearing)	☐	☐	☐	☐
書く力 (Writing)	☐	☐	☐	☐
読む力 (Reading)	☐	☐	☐	☐

能力評価のために用いられた方法 (Method used to test the applicant's ability)

備考 (Remarks) :

署名 (Signature)	
氏名 (Name)	
機関及び職名 (Present Position and Status)	
住所 (Address)	

日付(Date)

※出願する際は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。

空 白

平成 29（2017）年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻

社情

修士課程
「東京大学」入学検定試験検定料
振込金受付証明書（C 票）等
貼付用紙

受験番号 ●— この欄は記入しないこと

※検定料をコンビニエンスストアで払い込んだ場合は「収納証明書」を、クレジットカードで払い込んだ場合は、プリントアウトした「受付完了画面」を本用紙に貼り付けてください。

の り づ け

空 白

書 類 送 付 先

①合格通知用（最終合格者に対して合格発表日に送付される合格通知の受信場所を記入すること）

(郵便番号)	<u>〒</u> _____
(住所)	_____ _____
(受験者氏名)	_____ 殿

②入学許可通知用（最終合格者に対して翌年２月下旬頃に郵送される入学許可通知の受信場所を記入すること）

(郵便番号)	<u>〒</u> _____
(住所)	_____ _____
(受験者氏名)	_____ 殿

社会情報学コース出願書類チェックリスト

チェック	書類名	対象者
☐	入学願書(正・副)	全員
☐	受験票	全員
☐	出身大学の成績証明書	全員
☐	研究計画書	全員
☐	指導教員希望調査書	全員
☐	自己推薦書	全員
☐	受験票送付用封筒	全員
☐	書類送付先	全員

☐	検定料 「東京大学」入学検定試験検定料振込金受付証明書 (C票)等貼付用紙に以下を添付の上、提出 【銀行振込の場合】 「東京大学」入学検定試験検定料振込金受付証明書 (C票) 【コンビニエンスストアでの払込の場合】 収納証明書	全員(日本政府(文部科学省)奨学金留学生を除く)
☐	出身大学の卒業証明書	既卒業者(出願時に大学を卒業している者)のみ
☐	外国の大学の卒業見込証明書	外国の大学の卒業見込者のみ
☐	TOEFL成績証明書 (TOEFL-PBTまたはTOEFL-iBTの公式スコアシート)	書類を提出することにより外国語(英語)試験に代えることを希望する者のみ
☐	日本語学力証明書	外国人(日本の大学を卒業した者及び卒業見込みの者を除く)のみ
☐	志望理由書	社会人特別選抜枠での受験を希望する者のみ

注: 出願の際、本チェックリストにチェックの上、出願書類とともに郵送してください。